

お知らせ

当院では、以下の臨床研究を多施設と共同で実施しております。この研究は通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

多施設共同での HTLV-1 が生体肝移植の成績に及ぼす影響に関する研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科

【研究責任者】 藤山泰二（肝胆膵・乳腺外科 講師）

【研究代表者】 高田泰次（愛媛大学医学部附属病院 肝臓・胆のう・膵臓 移植外科 教授）

【研究の目的】

HTLV-1 陽性レシピエント及び陽性ドナーに対する生体肝移植の生存率を明らかにし、生体肝移植後 ATL 発症の危険因子を解析する事を目的としました。この研究は HTLV-1 が生体肝移植の成績に及ぼす影響に関する検討を目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 1996 年 1 月 1 日以降 2013 年 12 月 31 日までに当院で HTLV-1 陽性レシピエントあるいは陽性ドナーに対する生体肝移植を施行された患者さん

（利用するカルテ情報）

- ① レシピエント情報：年齢、性別、身長、体重、術前状態（入院、自宅待機など）、HTLV-1 感染の有無、肝原疾患、Child-Pugh スコア、Model for end-stage liver disease (MELD) スコア、転帰、術後合併症、術後感染症、死亡症例はその原因、術後免疫抑制剤の種類
- ② ドナー情報：年齢、性別、身長、体重、HTLV-1 感染の有無、続柄、転帰、

術後合併症、死亡症例はその原因

- ③ レシピエント手術情報：手術時間、出血量、グラフト種類、グラフト重量、
虚血時間、脾臓摘出の有無
- ④ ドナー手術情報：手術時間、出血量

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化したしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で「ご自身の診療録（カルテ）は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科 高田泰次

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327